参考資料１３

「フェリムゾン農薬蜜蜂影響評価書（案）」についての
意見・情報の募集について

令 和 7 年 1 月 14 日
農林水産省消費・安全局

この度、「フェリムゾン農薬蜜蜂影響評価書（案）」について、広く国民の皆様から意見・情報を募集いたします。

今後、本案については、提出いただいた意見・情報を考慮した上で、決定することとしております。

記

1　意見公募の趣旨・目的・背景

農林水産大臣は、農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）第 39 条第 1 項の規定に基づき、農薬の登録、変更の登録等について、農業資材審議会の意見を聴かなければならないとされています。このうち、農薬の蜜蜂への影響評価に関する事項については、関連分野における高い知見を有する専門家で構成される農業資材審議会農薬分科会農薬蜜蜂影響評価部会で検討することとしています。

令和 6 年 12 月 24 日、第 15 回農業資材審議会農薬分科会農薬蜜蜂影響評価部会において、フェリムゾンについて審議され、フェリムゾン農薬蜜蜂影響評価書（案）が了承されました。

つきましては、本評価書案について、広く国民の皆様からの意見・情報を募集いたします。

2　意見公募の対象となる案及び関連資料の入手方法

（1）e-Gov（https://www.e-gov.go.jp/）の「パブリック・コメント」欄に掲載
（農林水産省ホームページにあるリンクからアクセスが可能）

（2）農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室において配布

3　意見・情報の提出方法

（1）e-Gov の意見入力フォームを使用する場合

「パブリック・コメント：意見募集中案件詳細画面」の「意見募集要領（提出先を含む）」を確認の上、意見入力へのボタンをクリックし、「パブリック・コメント：意見入力フォーム」より提出を行ってください。

（2）郵送の場合

以下担当まで送付してください。

〒100－8950　東京都千代田区霞が関１－２－１
農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室

4　意見・情報の提出上の注意

提出の意見・情報は、日本語に限ります。

頂いた御意見については、個人情報を除き全て公開される可能性があることをあらかじめ御承知おきください。ただし、御意見中に、個人に関する情報であって特定個人を識別し得る記述がある場合及び個人・法人等の財産等を侵害するおそれがあると判断される場合には、公表の際に当該箇所を伏せさせていただきます。

また、提出に当たっては、氏名及び住所（法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）並びに連絡先（電話番号又は電子メールアドレス）を明記してください。御記入いただいた個人情報は、提出意見・情報の内容に不明な点があった場合等の連絡や確認等に利用するほか、当該意見・情報の内容に応じて、農林水産省内の関係部署、関係府省等に共有することがあります。

なお、電話での意見・情報はお受けしませんので御了承願います。また、頂いた御意見に対する個別の回答はいたしかねますので、その旨御了承願います。

5　意見・情報受付期間

令和７年１月 14 日～令和７年２月 12 日
（郵送の場合も締切日必着とします。）

6　公示資料

フェリムゾン農薬蜜蜂影響評価書（案）

（案）

フェリムゾン
農薬蜜蜂影響評価書

２０２４年１２月２４日

農業資材審議会農薬分科会

農薬蜜蜂影響評価部会

目　次

＜経緯＞ 2

＜農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿＞（第 15 回） 2

I. 評価対象農薬の概要 3

1. 有効成分の概要 3
2. 有効成分の物理的・化学的性状 4
3. 申請に係る情報 5
4. 作用機作 5
5. 適用病害虫の範囲及び使用方法（40 製剤、別添参照） 6

II. ミツバチに対する安全性に係る試験の概要 8

1. ミツバチに対する安全性に係る試験 8
2. ミツバチ個体への毒性（毒性指標） 9
3. 花粉･花蜜残留試験 10
4. 蜂群への影響試験 10

III. 毒性指標 11

1. 毒性試験の結果概要 11
2. 毒性指標値 11
3. 毒性の強さから付される注意事項 11

IV. 暴露量の推計 11

V. 評価結果 12

評価資料 12

評価資料（公表文献） 12

＜経緯＞

令和　５　年（2023年）	９　月　２１　日	農業資材審議会への諮問
令和　６　年（2024年）	１２　月　２４　日	農業資材審議会農薬分科会 農薬蜜蜂影響評価部会（第15回）

＜農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿＞（第 15 回）

（委員）	（臨時委員）	（専門委員）
五箇　公一	中村　　純	永井　孝志
山本　幸洋		横井　智之

フェリムゾン

I. 評価対象農薬の概要

1. 有効成分の概要

1.1 申請者 住友化学株式会社

1.2 登録名 フェリムゾン

(Z)-2'-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチルピリミジン-2-イルヒドラゾン

1.3 一般名 ferimzone（ISO 名）

1.4 化学名

IUPAC名： (*Z*)-2'-methylacetophenone 4,6-dimethylpyrimidin-2-ylhydrazone

CAS名 ： 4,6-dimethyl-2(1*H*)-pyrimidinone (2*Z*)-[1-(2-methylphenyl)ethylidene] hydrazone

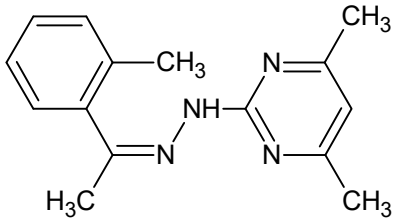
（CAS No. 89269-64-7）

1.5 コード番号 TF-164

1.6　分子式、構造式、分子量

分子式　　$C_{15}H_{18}N_4$

構造式



分子量　　254.33

2. 有効成分の物理的・化学的性状

試験項目			純度 (%)	試験方法	試験結果
色調・形状			100	目視	白色・固体(粉末)
臭気			100	官能法	無臭
融点			100	OECD 102	174 ˚C
沸点			100	減圧蒸留法	測定不能 (150 ℃以上で昇華、27~40 Pa)
密度			100	OECD 109	0.660 g/cm^3(20 ℃)
蒸気圧			97.2	気体流動法	4.12 × 10^{-6} Pa (20 ℃)
熱安定性			100	OECD 113	150 ℃以下で安定
溶解度	水		100	OECD 105	208 mg/L (20 ºC)
溶解度	有機溶媒	ヘキサン	100	OECD 105	0.991 g/L (20 ℃)
溶解度	有機溶媒	トルエン	100	OECD 105	39.6 g/L (20 ℃)
溶解度	有機溶媒	ジクロロメタン	100	OECD 105	454 g/L (20 ℃)
溶解度	有機溶媒	アセトン	100	OECD 105	30.2 g/L (20 ℃)
溶解度	有機溶媒	メタノール	100	OECD 105	225 g/L (20 ℃)
溶解度	有機溶媒	酢酸エチル	100	OECD 105	22.8 g/L (20 ℃)
解離定数 (pK_a)			100	OECD 112	4.41 (25 ºC)
1-オクタノール／水分配係数 (log P_{ow})			100	フラスコ振とう法	2.9 (25℃、pH 7)
加水分解性			100	記載なし	半減期 6.2 時間 (25 ℃、pH 1.2) 半減期 2.3 日 (25 ℃、pH 3) 半減期 12.5 日 (25 ℃、pH 5) 半減期 188 日 (25 ℃、pH 7) 半減期 8.6 年 (25 ℃、pH 9)
水中光分解性			100	EPA 161-2	半減期 ＜0.25時間 (pH 9、温度調節せず、自然太陽光*) *大阪(北緯35度)、2.2×10^3 w/m^2、300~3000 nm

<table>
<tr><th>試験項目</th><th>純度
(%)</th><th>試験方法</th><th>試験結果</th></tr>
<tr><td>紫外可視吸収
(UV/VIS)
スペクトル</td><td>100</td><td colspan="2">
<table>
<tr><th>極大吸収波長
(nm)</th><th>吸光度</th><th>モル吸光係数
(L mol^{-1} cm^{-1})</th></tr>
<tr><td colspan="3">中性</td></tr>
<tr><td>264</td><td>1.01</td><td>2.58×10^4</td></tr>
<tr><td colspan="3">酸性</td></tr>
<tr><td>258</td><td>0.873</td><td>2.22×10^4</td></tr>
<tr><td>319</td><td>0.347</td><td>8.82×10^3</td></tr>
<tr><td colspan="3">アルカリ性</td></tr>
<tr><td>216</td><td>0.387</td><td>9.85×10^3</td></tr>
<tr><td>264</td><td>1.01</td><td>2.57×10^4</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">試験項目</td><td>試験方法</td><td>試験結果</td></tr>
<tr><td colspan="2">土壌吸着係数</td><td>記載なし</td><td>K^{ads}_{Foc}：171~8105 (5種類の国内土壌)</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">土壌残留性</td><td>記載なし</td><td>水和剤、水田土壌(2種類)：半減期 2~9日
(土壌の深さ10 cm、減衰曲線による推定値)</td></tr>
<tr><td>記載なし</td><td>水和剤、畑地土壌(2種類)：半減期 2~17日
(土壌の深さ10 cm、減衰曲線による推定値)</td></tr>
</table>

3. 申請に係る情報

フェリムゾンは、2024 年 11 月現在、韓国、ベトナム、マレーシア、台湾で登録されている。

4. 作用機作

フェリムゾンはピリミジノンヒドラゾン系化合物であり、いもち病菌等の膜機能又は脂質生合成系に作用して、菌糸生育及び胞子形成を阻害することで殺菌効果を示すと考えられている。 (FRAC 分類：U14※)

※参照：https://www.frac.info/

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法（40 製剤、別添参照）

・ブラシン粉剤ＤＬ及びホクコーブラシン粉剤ＤＬ
（フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）

・ブラシンバリダ粉剤ＤＬ
（バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）

・ノンブラス粉剤ＤＬ
（トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）

・ノンブラスバリダ粉剤ＤＬ
（トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）

・ブラシントレボン粉剤ＤＬ及びホクコーブラシントレボンＤＬ粉剤
（エトフェンプロックス 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）

・ノンブラストレボン粉剤ＤＬ
（エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）

・ブラシントレバリダ粉剤ＤＬ及びホクコーブラシントレバリダ粉剤ＤＬ
（エトフェンプロックス 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）

・ノンブラストレバリダ粉剤ＤＬ
（エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）

・ブラシントレボン水和剤
（エトフェンプロックス 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤）

・ブラシントレバリダ水和剤
（エトフェンプロックス 5.0 %・バリダマイシン 2.5 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤）

・タケブラス
（フェリムゾン 30.0 %水和剤）

・ホクコーブラシンゾル及びブラシンゾル
（フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）

・ブラシンバリダゾル及びホクコーブラシンバリダゾル
（バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）

・ブラシンフロアブル及びホクコーブラシンフロアブル
（フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）

・ブラシンバリダフロアブル及びホクコーブラシンバリダフロアブル
（バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）

・ノンブラスフロアブル
（トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）

・ハスラー粉剤ＤＬ
（カルタップ 2.0 %・クロチアニジン 0.15 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）
・ブラシンダントツ粉剤ＤＬ
（クロチアニジン 0.15 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）
・ブラシンダントツ H 粉剤 DL
（クロチアニジン 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）
・ブラシンダントツフロアブル
（クロチアニジン 6.6 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）
・ブラシンキラップ粉剤ＤＬ及びホクコーブラシンキラップ粉剤ＤＬ
（エチプロール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）
・ノンブラスダントツフロアブル
（クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）
・トルファン及び住化トルファン
（バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 30.0 %水和剤）
・ノンブラスバリダダントツフロアブル
（クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）
・ブラシンキラップフロアブル及びホクコーブラシンキラップフロアブル
（エチプロール 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）
・ハスラーＲＸ粉剤ＤＬ
（クロチアニジン 0.50 %・メトキシフェノジド 0.50 %・バリダマイシ 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）
・ノンブラスバリダフロアブル
（トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）
・ブレードスタークルゾル
（ジノテフラン 10.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）
・ブレードスタークル粉剤ＤＬ
（ジノテフラン 0.35 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）
・ブレードスタークルＲゾル
（ジノテフラン 9.0 %・フェリムゾン 13.5 %・フサライド 13.5 %水和剤）

Ⅱ．ミツバチに対する安全性に係る試験の概要

1. ミツバチに対する安全性に係る試験

フェリムゾンのミツバチに対する安全性に係る試験を表 1 に示す。

表 1：ミツバチに対する安全性に係る試験

試験の種類	評価段階	試験数	公表文献数*
成虫単回接触毒性試験	第1段階	1	0
成虫単回経口毒性試験		1	0
成虫反復経口毒性試験		0	0
幼虫経口毒性試験		0	0
花粉・花蜜残留試験		0	
蜂群への影響試験	第2段階	0	

*（参考）公表文献の検索結果
（生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野）

データベース名: Web of Science（Core Collection）、MEDLINE、KCI-Korean Journal Database、Russian Science Citation Index、SciELO Citation Index及び J-STAGE

検索対象期間: 2007年1月1日から2021年12月31日

「生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野」に該当する文献数	34

⇩ 【表題と概要に基づく適合性の有無の評価】
明らかに評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性なし」以外の文献数	0

⇩ 【全文に基づく適合性の有無の評価】
評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性あり」の文献数	0

⇩ 【適合性の分類】
分類基準を設定して全文をレビューし、評価目的への適合性を a、b、c の3つの区分に分類

区分a；リスク評価パラメーターを設定又は見直すために利用可能と判断される文献
区分b；リスク評価パラメーターを設定する際の補足データとして利用が可能と想定される文献
区分c； a又はbに分類されない文献

	a	b
「区分 a」及び「区分 b」に分類された文献数	0	0

⇩ 試験生物として「セイヨウミツバチ（*Apis mellifera*）」を用いている

	a	b
審議の対象とする文献数	0	0

※公表文献に関する情報募集(令和 5 年 11 月 1 日~11 月 30 日)で寄せられた情報はない。

2. ミツバチ個体への毒性（毒性指標）

2.1 成虫単回接触毒性試験

セイヨウミツバチ成虫を用いた単回接触毒性試験が実施され、48 h LD_{50} は >100 µg ai/bee であった。

表 2：単回接触毒性試験結果（資料 1、2010 年）

被験物質	原体						
供試生物/反復	セイヨウミツバチ(*Apis mellifera*)/ 5反復、10頭/区						
準拠ガイドライン	OECD 214(1998)						
試験期間	48 h						
投与溶媒(投与液量)	アセトン(2 µL)						
暴露量 (設定量に基づく有効成分換算値) (µg ai /bee)	対照区 (水) (死亡率 %)	対照区 (アセトン) (死亡率 %)	6.25	12.5	25	50	100
死亡数/供試生物数 (48 h)	1/50 (2.0 %)	0/50 (0 %)	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50
観察された行動異常	なし						
LD_{50} (µg ai /bee) (48 h)	>100						

2.2 成虫単回経口毒性試験

セイヨウミツバチ成虫を用いた単回経口毒性試験が実施され、48 h LD_{50} は >140.4 µg ai/bee であった。

表 3：単回経口毒性試験結果（資料 2、1984 年）

被験物質	原体			
供試生物/反復	セイヨウミツバチ(*Apis mellifera*)/ 1反復、40~42頭/区			
準拠ガイドライン	記載なし			
試験期間	72 h			
投与溶液(投与液量)	蜂蜜			
助剤(濃度%)	記載なし			
暴露量 (実測値(摂餌量による補正値)に基づく有効成分換算値) (µg ai/bee)	対照区 (無処理) (死亡率 %)	28.87	75.00	140.4
死亡数/供試生物数 (48 h)	0/40 (0.0%)	0/40	0/42	2/41
観察された行動異常	本試験では行動異常を観察の対象としていない			
LD_{50} (µg ai/bee) (48 h)	>140.4			

2.3 成虫反復経口毒性試験

該当なし

2.4 幼虫経口毒性試験

該当なし

3. 花粉･花蜜残留試験

該当なし

4. 蜂群への影響試験

該当なし

Ⅲ．毒性指標

1．毒性試験の結果概要

毒性試験の結果概要を表 4 に示す。

表 4：各試験の毒性値一覧

毒性試験	毒性値	
	ｴﾝﾄﾞﾎﾟｲﾝﾄ	試験1
成虫単回接触毒性	48h LD_{50}(μg ai/bee)	>100
成虫単回経口毒性	48h LD_{50}(μg ai/bee)	>140.4

2．毒性指標値

フェリムゾンの蜜蜂への影響評価に用いる毒性指標値は以下のとおりとした（表 5）。

（1）成虫単回接触毒性

48h LD_{50} 値（>100 μg ai/bee）を採用し、毒性指標値を 100 μg ai/bee とした。

（2）成虫単回経口毒性

48h LD_{50} 値（>140.4 μg ai/bee）を採用し、毒性指標値を 140 μg ai/bee とした。

表 5：フェリムゾンのミツバチへの影響評価に用いる毒性指標値

生育段階	毒性試験の種類	毒性指標値(単位)	
成虫	単回接触毒性	48h LD_{50} (μg ai/bee)	**100**
	単回経口毒性	48h LD_{50} (μg ai/bee)	**140**

3．毒性の強さから付される注意事項

成虫単回接触毒性及び成虫単回経口毒性共に LD_{50} は 11 μg/bee 以上であったため、注意事項は要しない。

Ⅳ．暴露量の推計

本剤は、昆虫成長制御剤に該当せず、成虫の急性接触毒性（単回接触毒性試験の LD_{50} 値）が 11 μg/bee 以上であること、及び成虫の急性接触毒性以外の毒性値が超値（成虫単回経口毒性試験 LD_{50}：>140.4 μg/bee）であることから、1 巡目の再評価において、リスク評価を行う対象とはしない。そのため、暴露量の推計は行わない。

Ⅴ．評価結果

フェリムゾンは、申請された使用方法に基づき使用される限りにおいて、ミツバチの群の維持に支障を及ぼすおそれはないと考えられる。

評価資料

資料番号	報告年	題名、出典（試験施設以外の場合） 試験施設、報告書番号 GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無	提出者
1	2010	Ferimzone Technical Grade – Acute Contact Toxicity to the Honeybee *Apis mellifera* L. in the Laboratory Eurofins Agroscience Services GmbH Report No.: TEW-0060 GLP、未公表	住友化学(株)
2	1984	TK-11643Mのミツバチに対する経口毒性 武田薬品工業株式会社　Report No.: TEW-0070J 非GLP、未公表	住友化学(株)
3	2022 (2023修正)	農薬取締法に基づく農薬有効成分の再評価制度に係る公表文献調査報告書　有効成分名：フェリムゾン、TEG-0008J、 公表	住友化学(株)

評価資料（公表文献）

該当なし

別添：適用病害虫の範囲及び使用方法（フェリムゾン）

目　次

１．登録番号 17948：ブラシン粉剤ＤＬ、
登録番号 17949：ホクコーブラシン粉剤ＤＬ
（フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）.....4

２．登録番号 17951：ブラシンバリダ粉剤ＤＬ
（バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）.....4

３．登録番号 17954：ノンブラス粉剤ＤＬ
（トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）.....5

４．登録番号 17955：ノンブラスバリダ粉剤ＤＬ
（トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）.....5

５．登録番号 18170：ブラシントレボン粉剤ＤＬ、
登録番号 18171：ホクコーブラシントレボンＤＬ粉剤
（エトフェンプロックス 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）.....6

６．登録番号 18173：ノンブラストレボン粉剤ＤＬ
（エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）.....6

７．登録番号 18174：ブラシントレバリダ粉剤ＤＬ、
登録番号 18175：ホクコーブラシントレバリダ粉剤ＤＬ
（エトフェンプロックス 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）.....7

８．登録番号 18177：ノンブラストレバリダ粉剤ＤＬ
（エトフェンプロックス 0.50 %・トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）.....8

９．登録番号 18232：ブラシントレボン水和剤
（エトフェンプロックス 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤）.....8

１０．登録番号 18235：ブラシントレバリダ水和剤
（エトフェンプロックス 5.0 %・バリダマイシン 2.5 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 10.0 %水和剤）.....9

１１．登録番号 18526：タケブラス
（フェリムゾン 30.0 %水和剤）.....9

１２．登録番号 18755：ホクコーブラシンゾル、
登録番号 18756：ブラシンゾル
（フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）.....10

１３．登録番号 19023：ブラシンバリダゾル
登録番号 19024：ホクコーブラシンバリダゾル
（バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 20.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）.....10

１４．登録番号 19165：ブラシンフロアブル
登録番号 19166：ホクコーブラシンフロアブル
（フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）.....11

１５．登録番号 19352：ブラシンバリダフロアブル
登録番号 19353：ホクコーブラシンバリダフロアブル
（バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）.....11

１６．登録番号 20090：ノンブラスフロアブル
（トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）.....12

１７．登録番号 20804：ハスラー粉剤ＤＬ
（カルタップ 2.0 %・クロチアニジン 0.15 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）.....13

１８．登録番号 21186：ブラシンダントツ粉剤ＤＬ
（クロチアニジン 0.15 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）.....14

１９．登録番号 21218：ブラシンダントツ H 粉剤 DL
（クロチアニジン 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）.....14

２０．登録番号 21702：ブラシンダントツフロアブル
（クロチアニジン 6.6 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）.....15

２１．登録番号 21889：ブラシンキラップ粉剤ＤＬ
登録番号 22964：ホクコーブラシンキラップ粉剤ＤＬ
（エチプロール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）.....15

２２．登録番号 22257：ノンブラスダントツフロアブル
（クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）.....16

２３．登録番号 22568：トルファン
登録番号：24421：住化トルファン
（バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 30.0 %水和剤）.....16

２４．登録番号 22891：ノンブラスバリダダントツフロアブル
（クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）.....17

２５．登録番号 22927：ブラシンキラップフロアブル
登録番号 22963：ホクコーブラシンキラップフロアブル
（エチプロール 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）.....17

２６．登録番号 23602：ハスラーＲＸ粉剤ＤＬ
（クロチアニジン 0.50 %・メトキシフェノジド 0.50 %・バリダマイシ 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）.....18

２７．登録番号 23690：ノンブラスバリダフロアブル
（トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）.....19

２８．登録番号 24346：ブレードスタークルゾル
（ジノテフラン 10.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）.....19

２９．登録番号 24347：ブレードスタークル粉剤ＤＬ
（ジノテフラン 0.35 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）.....20

３０．登録番号 24608：ブレードスタークルＲゾル
（ジノテフラン 9.0 %・フェリムゾン 13.5 %・フサライド 13.5 %水和剤）.....20

１．登録番号 **17948**：ブラシン粉剤ＤＬ、
登録番号 **17949**：ホクコーブラシン粉剤ＤＬ
（フェリムゾン **2.0 %**・フサライド **1.5 %**粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	内穎褐変病 稲こうじ病 もみ枯細菌病	4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内	3 回以内
	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 穂枯れ(すじ葉枯病菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) 変色米(ｴﾋﾟｺｯｶﾑ菌)	3~4 kg/10 a					

２．登録番号 **17951**：ブラシンバリダ粉剤ＤＬ
（バリダマイシン **0.30 %**・フェリムゾン **2.0 %**・フサライド **1.5 %**粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 変色米(ｱﾙﾀﾅﾘｱ菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) 変色米(ｴﾋﾟｺｯｶﾑ菌)	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

３．登録番号 17954：ノンブラス粉剤ＤＬ
（トリシクラゾール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 穂枯れ(すじ葉枯病菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌)	3~4 kg/10 a	収穫7日前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)	2回以内
	内穎褐変病 もみ枯細菌病 稲こうじ病	4 kg/10 a					

４．登録番号 17955：ノンブラスバリダ粉剤ＤＬ
（トリシクラゾール 0.50 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌)	3~4 kg/10 a	収穫14日前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)	6回以内 (育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)	2回以内

５．登録番号 **18170**：ブラシントレボン粉剤ＤＬ、
登録番号 **18171**：ホクコーブラシントレボンＤＬ粉剤
（エトフェンプロックス **0.50 %**・フェリムゾン **2.0 %**・フサライド **1.5 %**粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲｳﾝｶ類	3~4 kg/10 a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内	3回以内
	ｶﾒﾑｼ類	4 kg/10 a						

６．登録番号 **18173**：ノンブラストレボン粉剤ＤＬ
（エトフェンプロックス **0.50 %**・トリシクラゾール **0.50 %**・フェリムゾン **2.0 %**粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲｳﾝｶ類	3~4 kg/10 a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)	2回以内
	ｶﾒﾑｼ類	4 kg/10 a						

７．登録番号 **18174**：ブラシントレバリダ粉剤ＤＬ、
登録番号 **18175**：ホクコーブラシントレバリダ粉剤ＤＬ
（エトフェンプロックス **0.50 %**・バリダマイシン **0.30 %**・フェリムゾン **2.0 %**・フサライド **1.5 %**粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(ｱﾙﾀﾅﾘｱ菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｲﾅｺﾞ類	3~4 kg/10 a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内	6回以内(育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)	2回以内	3回以内
	ｶﾒﾑｼ類	4 kg/10 a							

８．登録番号 **18177**：ノンブラストレバリダ粉剤ＤＬ
（エトフェンプロックス **0.50 %**・トリシクラゾール **0.50 %**・バリダマイシン **0.30 %**・フェリムゾン **2.0 %**粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	3 回以内	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)	6 回以内 (育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)	2 回以内
	ｶﾒﾑｼ類	4 kg/10 a							

９．登録番号 **18232**：ブラシントレボン水和剤
（エトフェンプロックス **5.0 %**・フェリムゾン **15.0 %**・フサライド **10.0 %**水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類	500 倍	60~150 L/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	3 回以内	2 回以内	3 回以内

１０．登録番号 18235：ブラシントレバリダ水和剤
（エトフェンプロックス **5.0 %**・バリダマイシン **2.5 %**・フェリムゾン **15.0 %**・フサライド **10.0 %**水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類	500 倍	60~150 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布

ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽを含む農薬の総使用回数	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
3 回以内	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

１１．登録番号 18526：タケブラス
（フェリムゾン **30.0 %**水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内

１２．登録番号 **18755**：ホクコーブラシンゾル、
登録番号 **18756**：ブラシンゾル
（フェリムゾン **20.0 %**・フサライド **15.0 %**水和剤）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数</th><th>ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">稲</td><td rowspan="2">いもち病</td><td>原液</td><td>120 mL/10 a</td><td rowspan="3">収穫7日前まで</td><td rowspan="3">2回以内</td><td rowspan="2">空中散布</td><td rowspan="3">2回以内</td><td rowspan="3">3回以内</td></tr>
<tr><td>30倍</td><td>3 L/10 a</td></tr>
<tr><td>いもち病
穂枯れ(ごま葉枯病菌)
内穎褐変病
もみ枯細菌病</td><td>8倍</td><td>800 mL/10 a</td><td>無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布</td></tr>
</table>

１３．登録番号 **19023**：ブラシンバリダゾル
登録番号 **19024**：ホクコーブラシンバリダゾル
（バリダマイシン **5.0 %**・フェリムゾン **20.0 %**・フサライド **15.0 %**水和剤）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む農薬の総使用回数</th><th>ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数</th><th>ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">稲</td><td rowspan="2">いもち病
紋枯病</td><td>30倍</td><td>3 L/10 a</td><td rowspan="2">収穫14日前まで</td><td rowspan="2">2回以内</td><td>空中散布</td><td rowspan="2">6回以内(育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)</td><td rowspan="2">2回以内</td><td rowspan="2">3回以内</td></tr>
<tr><td>8倍</td><td>800 mL/10 a</td><td>無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布</td></tr>
</table>

１４．登録番号 19165：ブラシンフロアブル
登録番号 19166：ホクコーブラシンフロアブル
（フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 褐条病 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) 変色米(ｴﾋﾟｺｯｶﾑ菌) 変色米(ｱﾙﾀﾅﾘｱ菌) 稲こうじ病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 墨黒穂病	1000 倍	60～150 L/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内	3 回以内
		300 倍	25 L/10 a					
		30 倍	3 L/10 a			空中散布		
		8 倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布		

１５．登録番号 19352：ブラシンバリダフロアブル
登録番号 19353：ホクコーブラシンバリダフロアブル
（バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 内穎褐変病 ごま葉枯病 もみ枯細菌病	1000 倍	60～150 L/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内
		30 倍	3 L/10 a			空中散布			
		8 倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布			

１６．登録番号 20090：ノンブラスフロアブル
（トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の総使用回数</th><th>ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="7">稲</td><td>いもち病
ごま葉枯病
穂枯れ(ごま葉枯病菌)
変色米(ｱﾙﾀﾅﾘｱ菌)
変色米(ｴﾋﾟｺｯｶﾑ菌)
変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌)
もみ枯細菌病
内穎褐変病
稲こうじ病</td><td>1000倍</td><td>60～150 L/10 a</td><td rowspan="7">収穫7日前まで</td><td rowspan="7">2回以内</td><td rowspan="4">散布</td><td rowspan="7">4回以内
(育苗箱への処理は1回以内、
本田では3回以内)</td><td rowspan="7">2回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="6">いもち病</td><td>300倍</td><td>25 L/10 a</td></tr>
<tr><td>原液</td><td>120 mL/10 a</td><td rowspan="3">空中散布</td></tr>
<tr><td>8倍</td><td>800 mL/10 a</td></tr>
<tr><td>30倍</td><td>3 L/10 a</td></tr>
<tr><td>8倍</td><td>800 mL/10 a</td><td>無人航空機による散布</td></tr>
</table>

１７．登録番号 20804：ハスラー粉剤ＤＬ
（カルタップ 2.0 %・クロチアニジン 0.15 %・バリダマイシン 0.30 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｲﾈﾂﾄﾑｼ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ いもち病	3~4 kg/10 a	収穫 21 日前まで	2 回以内	散布
	ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ｶﾒﾑｼ類 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) 内穎褐変病	4 kg/10 a			

ｶﾙﾀｯﾌﾟを含む農薬の総使用回数	ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
6 回以内(浸種前は 1 回以内、浸種後から直播でのは種時又は移植時までの処理は 1 回以内)	4 回以内(直播でのは種時又は移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

１８．登録番号 21186：ブラシンダントツ粉剤ＤＬ
（クロチアニジン 0.15 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類 ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	4 回以内(直播でのは種時又は移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内

１９．登録番号 21218：ブラシンダントツ H 粉剤 DL
（クロチアニジン 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ ｲﾈﾂﾄﾑｼ ｶﾒﾑｼ類	3~4 kg/10 a	収穫 7日前まで	2回以内	散布	4回以内(直播でのは種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計3回以内)	2回以内	3回以内

２０．登録番号 21702：ブラシンダントツフロアブル
（クロチアニジン 6.6 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類	8 倍	800 mL/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布	4 回以内(直播でのは種時又は移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ﾍﾘ散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内
						空中散布			
		30 倍	3 L/10 a						
		300 倍	25 L/10 a			散布			
	いもち病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ごま葉枯病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類 ｲﾅｺﾞ類	1000 倍	60~150 L/10 a						

２１．登録番号 21889：ブラシンキラップ粉剤ＤＬ
登録番号 22964：ホクコーブラシンキラップ粉剤ＤＬ
（エチプロール 0.50 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾁﾌﾟﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内(は種時(直播)又は移植時までの処理は 1 回以内)	2 回以内	3 回以内

２２．登録番号 22257：ノンブラスダントツフロアブル
（クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類	8 倍	800 mL/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	空中散布
						無人航空機に よる散布
	いもち病 ｶﾒﾑｼ類	300 倍	25 L/10 a			散布
	いもち病 ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類	1000 倍	60~150 L/10 a			

ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝを含む農薬の 総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の 総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の 総使用回数
4 回以内 (直播でのは種時又は移植時までの 処理は 1 回以内、本田での散布、 空中散布、無人航空機散布は 合計 3 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以内、 本田では 3 回以内)	2 回以内

２３．登録番号 22568：トルファン
登録番号：24421：住化トルファン
（バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 30.0 %水和剤）

作物名	適用病害虫名	使用量		使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝ を含む 農薬の 総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを 含む農薬の 総使用回数
		薬量	希釈 水量					
日本芝	ﾍﾙﾐﾝﾄｽﾎﾟﾘｳﾑ葉枯病 ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ葉枯病 葉腐病(ﾗｰｼﾞﾊﾟｯﾁ)	0.5~1 g/m^2	1 L/m^2	発病 初期	8 回 以内	散布	8 回以内	8 回以内
西洋芝 (ﾍﾞﾝﾄｸﾞﾗｽ)	ﾍﾙﾐﾝﾄｽﾎﾟﾘｳﾑ葉枯病 ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ葉枯病 葉腐病(ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾟｯﾁ) 炭疽病	0.5~1 g/m^2	1 L/m^2	発病 初期	8 回 以内	散布	8 回以内	8 回以内
	ﾀﾞﾗｰｽﾎﾟｯﾄ病	0.5 g/m^2						
	ﾋﾟｼｳﾑ病 赤焼病		0.5~1 L/m^2					
	葉腐病(ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾟｯﾁ)		0.2 L/m^2					

２４．登録番号 22891：ノンブラスバリダダントツフロアブル
（クロチアニジン 6.6 %・トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類	8 倍	800 mL/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	無人航空機 による散布
		300 倍	25 L/10 a			散布
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) ｲﾅｺﾞ類	1000 倍	60~150 L/10a			

ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝを含む 農薬の総使用回数	ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む 農薬の総使用回数	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む 農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む 農薬の総使用回数
4 回以内(直播でのは種時又は移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	4 回以内(育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以内､本田では 5 回以内)	2 回以内

２５．登録番号 22927：ブラシンキラップフロアブル
登録番号 22963：ホクコーブラシンキラップフロアブル
（エチプロール 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｴﾁﾌﾟﾛｰﾙを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ｶﾒﾑｼ類	300 倍	25 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内 (は種時(直播)又は移植時までの処理は 1 回以内)	2 回以内	3 回以内
	いもち病 ｶﾒﾑｼ類 ｳﾝｶ類	1000 倍	60~150 L/10 a						
		8 倍	800 mL/10 a			無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布			

２６．登録番号 23602：ハスラーＲＸ粉剤ＤＬ
（クロチアニジン **0.50 %**・メトキシフェノジド **0.50 %**・バリダマイシ **0.30 %**・フェリムゾン **2.0 %**・フサライド **1.5 %**粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｺﾌﾞﾉﾒｲｶﾞ ｲﾈﾂﾄﾑｼ ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ ﾆｶﾒｲﾁｭｳ ｶﾒﾑｼ類	3~4 kg/10 a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布
	内穎褐変病 変色米(ｱﾙﾀﾅﾘｱ菌) 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) 稲こうじ病	4 kg/10 a			

ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾒﾄｷｼﾌｪﾉｼﾞﾄﾞを含む農薬の総使用回数	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
4 回以内(直播でのは種時又は移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	3 回以内	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以内、本田では 5 回以内)	2 回以内	3 回以内

２７．登録番号 23690：ノンブラスバリダフロアブル
（トリシクラゾール 8.0 %・バリダマイシン 5.0 %・フェリムゾン 15.0 %水和剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法
稲	いもち病 紋枯病 もみ枯細菌病	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布
		8 倍	800 mL /10 a			無人航空機による散布
	いもち病 紋枯病	300 倍	25 L /10 a			散布

ﾄﾘｼｸﾗｿﾞｰﾙを含む農薬の 総使用回数	ﾊﾞﾘﾀﾞﾏｲｼﾝを含む農薬の 総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の 総使用回数
4 回以内(育苗箱への処理は 1 回以内、本田では 3 回以内)	6 回以内(育苗箱灌注は 1 回以 内､本田では 5 回以内)	2 回以内

２８．登録番号 24346：ブレードスタークルゾル
（ジノテフラン 10.0 %・フェリムゾン 15.0 %・フサライド 15.0 %水和剤）

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
稲	いもち病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 稲こうじ病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 変色米(ｶｰﾌﾞﾗﾘｱ菌) 変色米(ｱﾙﾀﾅﾘｱ菌) ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前 まで	2 回 以内	散布
		300 倍	25 L/10 a			
		8 倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布

ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の 総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の 総使用回数
4 回以内(育苗箱への処理及び側条施用は 合計 1 回以内､本田での散布､空中散布､ 無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内

２９．登録番号 24347：ブレードスタークル粉剤ＤＬ
（ジノテフラン 0.35 %・フェリムゾン 2.0 %・フサライド 1.5 %粉剤）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ ｶﾒﾑｼ類	3~4 kg/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布

ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
4 回以内（育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内）	2 回以内	3 回以内

３０．登録番号 24608：ブレードスタークルＲゾル
（ジノテフラン 9.0 %・フェリムゾン 13.5 %・フサライド 13.5 %水和剤）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 ｳﾝｶ類 ｶﾒﾑｼ類 ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	1000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布
		300 倍	25 L/10 a			
		8 倍	800 mL/10 a			無人航空機による散布

ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｪﾘﾑｿﾞﾝを含む農薬の総使用回数	ﾌｻﾗｲﾄﾞを含む農薬の総使用回数
4 回以内(育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内)	2 回以内	3 回以内